

## 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2021年2月26日

事業所名 おおとり園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	身体を動かせるスペースは確保されていると思います。活動内容によって使いやすいように工夫をしていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	利用者さんの体調や支援内容によって職員の人数を決めています。イベントで外出の際は、安全を考えて人数を確保しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	スロープ等バリアフリー化されています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	計画に沿った支援を行い「改善された」「難しかった」などを振り返りで話し合い、改善策を決めます。指導員全員が情報共有できるように日報に書き、確認するようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者の意見や結果を受け止め、改善策を話し合っています。指導員全員で共通理解の上、改善できるように努めていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	結果については指導員全員で話し合いをし確認しています。事業所のホームページに毎年載せています。新しい職員にも、伝えるようにしていきます。

⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	ホームページにアンケート結果を公開し、第三者の意見も取り入れ、業務改善に繋がるようにします。	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	職員全員の研修会がコロナ禍でできませんでしたが、他園での支援研修は行っています。今後も資質の向上を図るために専門の先生を招いて研修会を開いていきます。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	モニタリングや帰りの引継ぎ時に保護者の方と話し合い、何が必要なのかを考え計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	保護者の方が書いた利用者登録カードや計画相談書、サポートシートを活用しています。療育の先生のアドバイスもアセスメントツールに組み込んでいきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	課題、運動、制作に分けて計画を立てています。立てた計画を全員ができるようにお伝えしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	運動、制作、課題を分けて取り組んでいます。季節や行事もふまえて、目的を持って企画しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	課題を決める時点で略案を作り見通しを持って支援ができるようにしていきます。誰もが成功体験や達成感を持てるように設定していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別発表や個別の制作で個々の支援をしています。集団遊びや、ルールを学びグループ活動ができるオリエンテーリングも取り入れています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	週間予定表で大まかな役割を伝えています。課題の手順書等を利用し、事前に内容が分かるように工夫をしていきます。また、送迎の車やバスの中で詳しいお話を共有しています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日振り返りをし、支援についての取決め、問題点や良かった点を共有しています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日、利用者さんの支援記録を取っています。振り返りの中で、支援についての疑問点や問題点、良かった事を話し合い改善に努めています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	モニタリングに参加した時には、家庭での様子や園の様子を共有し、見直しが必要かどうかの判断をしています。個別検討会で決め、見直すこともあります。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	ガイドラインの基本活動に沿って支援を行い、独自でも考え複数組み合わせ合わせて支援を行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	責任者や個別支援計画の担当の職員が参加し利用者さんの詳しい情報を伝えています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校から年間予定表と行事予定表を頂いております。レスパイトについての話し合いの場にも参加しています。下校時刻確認は、お家の方が予定表で連絡してくれます。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	今年は医療ケアが必要な利用者さんはいませんが、いる場合には緻密な連絡を取り合えるようにしていきます。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	特に該当はありません。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	特に該当はありません。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	言語聴覚士の先生と連携し、助言を頂いています。そして、会議にも参加していることを職員全員に伝えていきます。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、他事業所との交流は出来ませんでした。公園の時間に、時々近所の同年代の子ども達と鬼ごっこや砂遊びでの交流はあります。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	今年度は新型コロナウイルスの影響でできませんでした。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	帰りの引継ぎ時に、いつもと違った様子の時は本人にわからないように伝えていきます。褒めることは本人の前で伝えて一緒に喜んでいきます。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	モニタリングや引継ぎの時に話し合い、ご家庭でも取り組める事があったらお伝えしていきます。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明をしています。変更があった場合は掲示やお手紙でお知らせをしています。職員にも説明をしていきます。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	個別面談でお話を聞かせていただき、経験からの助言や必要に応じて専門の方からの助言も視野に入れて行っています。これらの事を職員間で共有し助言できるようにしていきます。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	今年度は新型コロナウイルスの影響もありできませんでした。お迎えの時に保護者同士の会話・交流の様子が伺えます。新型コロナウイルスが収束したら何らかの形で開きたいと思います。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情・相談を受けた時は本人と保護者に周知・説明しています。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的に園だよりを発行し、今月の行事予定を周知できるようにしています。園だよりは誰でも見える所に掲示しています。自己評価はホームページ等で発信しています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	実績表等、個人情報として扱うべきものは他の人の目に触れないように扱っています。引継ぎ時に、他の利用者さんが話を聞くことが無いように配慮して対応していきます。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	マカトンサイン・筆談・写真カード・手話、タブレットなど個人によって使い分けていきます。職員全員が使えるようにしていきます。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	今年は新型コロナウイルスの影響で、商業施設での行事開催は出来ませんでした。感染が落ち着いたら行いたいと思っています。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応マニュアルは園だよりにてお知らせし玄関にて人目の付くところに掲示します。感染症対応マニュアルはお手紙を配布して周知・説明しています。防犯マニュアルの対策を周知できるようにしていきます。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練の実施日を予定表に掲示します。マニュアルに沿って、適切な訓練が出来るように役割分担を決め、一人一人が真剣に取り組んでいます。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	県で発行しているチェック表を用いて職員間で適切な対応をしているかを話し合う機会を設けています。そして職員同士で確認しながら支援していきます。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	保護者の方には、個別支援計画と一緒に了承を得ています。職員にも周知していきます。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	保護者にアレルギー調査票を記入してもらい、それに沿って支援・対応をしています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事例があった際には、振り返りの時に聞き、ヒヤリハットを作成し職員全員が共有しています。